

特別書評

～圧倒的な事実の集積、温もり、悠久の著～ 日原 いずみ

手にしてまず、本のサイズや重さ、表紙の質感に落ち着く。

中を開くと、読みやすく、わかりやすい文字の大きさや行間、キャプション……

私も何冊か本を上梓してきたので、『養生の力』が細部にわたり、読む人の身になってつくられた親切な本だということがわかる。

松本先生の指導の根っこにあるようなやさしさと思いやり。

内容は、とえば圧倒的な事実や実感の連続。人が治っていく姿を無数にみてきた先生の信念や覚悟。人々の復活のエネルギーや感動が、迫力を伴って届けられる。

薬師寺の山田ご長老と松本先生の対談や、ドイツ、シンガポールからの寄稿文を読むにつれ、時や場所を超えた悠久の空気感に包まれた。

時代の進化に甘えて、人類はむしろ退化しているのではないか。

病を抱えた私には、本書の言葉が時に突き刺さり、身の引き締まる思いがした。

松本先生の言葉により、太古の昔からの真理や真実が伝えられ、<結果は条件と言う外に在るのではなく、「どう行動して行くか常に自分の側、内に在る」>、<人は見ている処へ必ず行ける。>など、確信に満ちた言葉から励まされる。

私が私として認識する遥か昔から脈々と受け継がれてきた遺伝子や身体の手を信じようという気になる。

凜として美しいmixs.の景色。

ラストでは、上質な映画を観ているかのような感動を受け、涙した。それも実話である。

『養生の力』は、迷った時に何度も読み返し、力をいただきたい悠久の著だ。

(作家) 日原 いずみ ブログ <http://hihararara.exblog.jp/>

～人体の力を信じることで人生は好転する～ 久野 健司

戦後外国から入って来た教育や文化は、私たちの生活にかかせないものとなりました。インターネットの登場でより便利な世の中となりましたが、副産物として人間の肉体や精神に健康被害を生じさせている気がします。

どこからでも入手できる食品や薬品・情報は“時間”という概念を忘れさせ、人間が本来持っている生活リズムをいちじるしく狂わせていないでしょうか。乱れた生活リズムから発生した病・不具合は、現代医療に頼ることが常識であり、人間の体が元々持っている修復機能は阻害され、使う機会を失っています。

この状況を変えるには、本書に記されている“3つのキーワード”を意識し、現代医療に頼る考え方から自身の力で結果を出せる考え方へシフトしなければなりません。

人間誰もが無意識に行っている日常的な動作を意識すれば、健康と自信を手に入れる事が可能、と聞いたらあなたはどう感じますか？

「医者でもない、医療の知識もない私が病気を自分で治す？」

「そんなこと出来るわけない。」と思うのも無理はありません。

なぜなら、そのような事例はこれまで周りで見たことも聞いたこともないからです。

しかし、本書では実際に回復された本人の手記を読む事が出来ますし、望めばお会いする事も可能だと聞きます。しかも皆が同じ時間と空間を共有するので、復活する様子を目撃出来るのです。

それぞれの不具合、それぞれの現実を抱えた方たちが、皆と同じ動作を行い復活して行く様子は、目に見えない力が働いているのであり、人間の機能を使っている証拠です。

あなたもこの世に誕生した時点でこの素晴らしい力を平等に授かっているのですから、本書の養生方を是非、実践してみてください。

少しでも本書の内容が広まる事を望んでいます。

PC サポート 久野 健司 ブログ <http://jpkenkouproject.blogspot.jp/>